

## Broaden your horizons ⑩ ~さあ、視野を広げて!~



こんにちは。メディセレのしゃっちょう、児島恵美子です。

薬局経営も経済で動きます。ですから、今回は経済のお話をしましょう。そもそも経済学の目的とは何でしょうか? それは人々の消費を最大化するためにはどうすればよいかを考えることです。では、なぜ消費の最大化を達成しなければならないのでしょうか? それは消費の最大化を達成すれば、人々が満足すると考えたからです。では、なぜ満足を追求するのでしょうか? それは幸福感を感じると考えたからです。ということは、「経済学」=「幸福学」です。

『幸せの経済学』を著した同志社大学経済学部の橋木俊詔教授によると、日本人の幸福度は178か国中90位、先進国の中でも最低ということです。ちなみに、アメリカ23位、ドイツ35位、イギリス41位、フランス64位です。おまけに、日本と平均年収で7.5倍もの開きがある中国が82位です。1位は福祉大国のデンマーク、8位に幸せの国ブータンがランクインしています。豊かさが幸福のモノサシではないのです。やはり、幸福学が必要です。デンマークの幸福は福祉の充実、所得の平等、男女の職業的平等が支えているそうです。ブータンはチベット仏教の信仰心、強い家族の絆が支えているそうです。いろいろ考えさせられました。ちなみに、日本では男性より女性が幸福感を感じ、若い人より高齢者が幸福を感じているそうです。ということは……60代の女性が温泉巡りなどをして最も幸福を感じ、20代の男性がコンビニ通いなどをして最も不幸を感じているということでしょうか。日本政府は中福祉中負担と主張しますが、実態は低福祉中負担です。そんな政府が国民に信頼されるでしょうか。高福祉を約束するデンマーク政府は国民に信頼されています。ですから、高負担が認められるのです。

日本では医療費の伸びが経済成長の伸びを上回っていることが問題視されます。それよりも政府の経済失策を問題視するべきではないでしょうか。薬価財源切り離しによる実質マイナス改定はどう考えても責任転嫁です。医療費を抑制する一方で、医療を成長戦略に位置付けています。確かに、健康寿命の延伸は幸福に結び付き、経済成長にも寄与します。私たちが自主的にできることから始めるべきです。

Medisere (メディセレ) 代表取締役社長 児島 恵美子